

特集

子ども議会

新庁舎議場で初の一般質問
斬新なアイデアが……

開催5回目となる子ども議会。子どもたちの斬新なアイデアを町政に反映させようと、2月3日(金)役場議場で行われました。

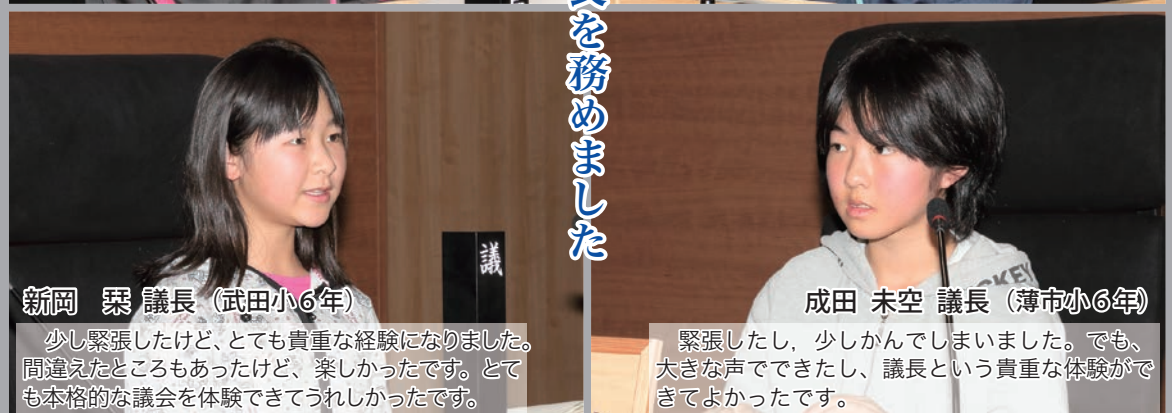
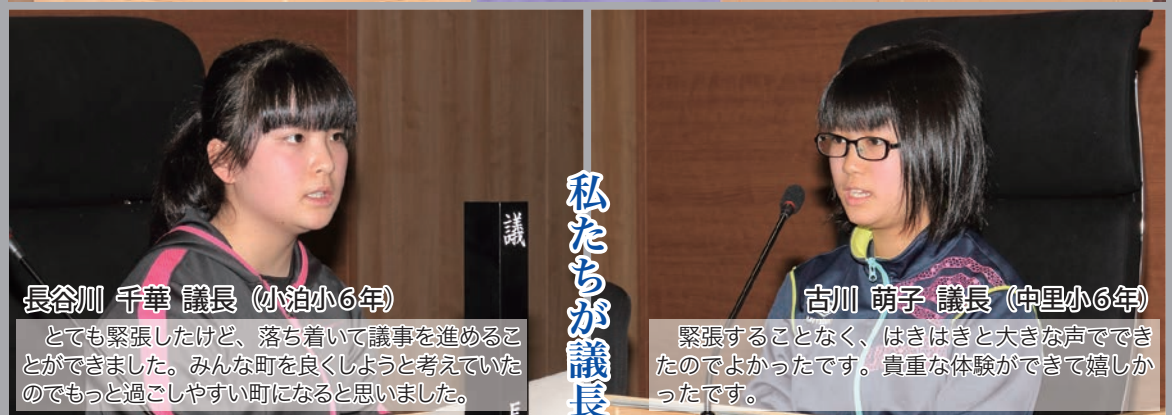
今年は、中里小学校から4人、武田小学校から2人、薄市小学校から1人、小泊小学校から2人が、町議会議員や議員の見守る中、子ども議員として町長と議論しました。

また、子ども議長は、中里小学校から古川萌子さん、武田小学校から新岡栞さん、薄市小学校から成田未空さん、小泊小学校から長谷川千華さんが務めました。

議会が始まり、小野町長が「みなさんが一生懸命考えてきた意見や斬新なアイデアは今後の町政の参考にします。この機会に行政と議会の仕組みをしっかりと学び、今回の経験を将来に活かすことを期待しています」とあいさつしました。

子ども議員9人が順に質問者席に立ち、パネルを使うなど工夫をこらしながら、町長に学級やグループでまとめた質問をぶつけていました。

最後は秋元副町長が「普段の学校生活、修学旅行での体験、放課後や休日の遊び場、町のPR方法、地球環境の問題まで幅広い内容の一般質問でした。皆さんからいただいた質問・提案は決して無駄にすることなく、まちづくりの参考になります」と講評しました。



私たちが議長を務めました

長谷川 千華 議長 (小泊小6年)

とても緊張したけど、落ち着いて議事を進めることができました。みんな町を良くしようと考えていたのでもっと過ごしやすい町になると思いました。

古川 萌子 議長 (中里小6年)

緊張することなく、はきはきと大きな声でできたのでよかったです。貴重な体験ができて嬉しかったです。

新岡 栞 議長 (武田小6年)

少し緊張したけど、とても貴重な経験になりました。間違えたところもあったけど、楽しかったです。とても本格的な議会を体験できてうれしかったです。

成田 未空 議長 (薄市小6年)

緊張したし、少しかんでしまいました。でも、大きな声でできたし、議長という貴重な体験ができてよかったです。

町のPRグッズの販売について



三上 航平 議員 (中里小6年)

最初の質問者だったのでとても緊張しました。でも上手く質問できたので安心しました。

私たちは修学旅行のとき、函館駅前で地元の人や旅行中の人に、町のPRをしたり、町の知名度を調査したりしました。219人に聞いたところ41人が中泊町の名前を知っていました。

そこで、町のキャラクターグッズを販売し、PR活動をもっと増やすことを提案します。3体のゆるキャラのイカリん・米ケル・米ケル Jr.を始め、中泊メバルキャラクターのメバルの妖精「テンちゃん＆カラカラ」のグッズ販売を広げること、町の知名度を高め、町への収入も期待できると思うのですがいかがでしょうか。

〈答弁〉小野町長

3体のゆるキャラのグッズは、バッチ・タオル・シールなどを製作しています。これは、非売品であることから、今後、販売について検討して参りたいと考えています。「テンちゃん＆カラカラ」は中泊メバル料理推進協議会が考えたキャラクターであり、グッズとしてストラップを新幹線開業記念品として、非売品で製作しました。今後、販売するとなると協議が必要となりますが、前向きに検討したいと考えています。

桜つつみ公園の整備について



西崎 利陽 議員 (武田小6年)

すごく緊張したけど、しっかり質問することができました。他の人の質問も、いろいろ意見が出ていたし、初めての体験だったので、いい経験になりました。

〈質問〉学校の近くの旧武田中学校の所に、桜つつみ公園があります。でも、草がたくさん生え、実際に遊べるのはほんの少しのスペースだけです。また、そこにある遊具はとも古く、遊ぶには危険です。そこで、桜つつみ公園の整備をして、みんなで遊べる公園にしてほしいです。例えば、草刈り、必要のない物の撤去、遊具やベンチの設置などです。子どもからお年寄りまで安心して、楽しく過ごせる公園ができれば、みんなの交流の場として使えると思います。明るい町づくりのために、ぜひ、よろしくお願ひします。

〈答弁〉小野町長

公園内の草刈りは回数を増やし、憩いの場として利用できるようにし、きれいな環境で、安心して楽しく遊んでいただけるよう、改善に努めて参ります。遊具は、業者に点検をお願いして、機能に関する総合的判断を行っています。利用状況、安全基準に基づき、計画的に危険なものは撤去しなくてはなりません。しかし、多額の費用がかかるため、小学校の遊具を優先して取り替え、その他の公園の遊具は、取り外しや、使用中にしています。ですので、小学校の遊具を使うようお願いいたします。

地元の食材を使用した給食の献立



菊地 夕楓 議員 (中里小6年)

とても緊張したけど、貴重な体験ができたので良かったです。

〈質問〉中泊町の食材を学校給食の献立にもっと取り入れて、ふるさとの味を小中学生に伝えてはいいでしょうか。私がこれまでに給食で食べた地元の食材は、のしいか、いかげそから揚げ、アスパラサラダ、米粉パンなどが心に残っています。是非、中泊町の食材を使った料理、例えばメバルを使った料理などを給食に出して、地元の食材のよさをアピールしてはどうでしょうか。

〈答弁〉小野町長

大変すばらしいアイデアだと思います。地産地消の推進や地域の活性化にもつながるものと期待されます。地元産の食材としては、トマトやアスパラガスなどの野菜類、イカ、お米を購入しています。関係者と意見交換や協議をしながら、地元食材を給食にもっと取り入れるよう努めてまいります。また、メバルを使った料理のご提案ですが、メバルは高価な魚であることから、頻繁に、とは参りませんが、関係者と相談しながら、早い段階で実現できると期待したいと考えています。

交通量の多い交差点に、横断歩道や信号機を設置してほしい



とても緊張したけど、速くなりすぎず話せて良かったです。質問に町長がしっかり応えてくれたので良かったです。

小泊の北旗建設付近の交差点に信号機があります。そこは、交通量が多い交差点です。しかし、横断歩道が無く、危険だと感じました。また、お魚海岸付近の丁字路にも信号機が無く、道路を曲がる時に見づらいので不便を感じると、下前地域の人が話していました。

そこで、地域の安全のためにも交通量の多い交差点などに、横断歩道や信号機を設置を要望します。

〈答弁〉小野町長

信号機や横断歩道は県の公安委員会の判断となり勝手には整備できない状況です。設置は、車の交通量や道路の形状、待機スペース、通学路かどうかが主な基準となっており、総合的に考慮しながら、優先順位に基づいて設置をしているそうです。

これまで町でも、ご質問の丁字路などに信号機や横断歩道の設置を要望してきましたが、まだ実現されていません。これからも地域の関係者と連携を深め、将来を担う子供たちや高齢者、ドライバーがお互い安全で住みよい地域づくりのため、横断歩道や信号機の設置を強く関係機関に働きかけて参りますので、どうかご理解いただきたいと思います。

街灯の設置について



とても緊張しました。町長から街灯を設置してくれると聞いて安心したし、とても驚きました。

薄市小学校の坂を降りて、佐々木釜金の前を通る細い路地は、街灯はついていないのですが、暗いです。理由は、街灯の間隔が広い、明かりが全体を照らしていない、明かりそのものが暗いことなどが考えられます。後輩にも安心して学校から帰ってもらいたいので設置をよろしく願います。

参考までに電力が少ないLEDライトや太陽パネルで蓄電する街灯などを設置すればエコだと思えます。また、防犯のために青いライトを設置している市町村もみかけます。

〈答弁〉小野町長・飯塚総務課長

ご質問のあった道路については、すぐに対応したいと思えます。それでも未だ十分でない場合、検討させていただきます。

現在、町の街灯の大部分は白色の蛍光タイプですが、LED街灯に切り替えていきます。ソーラーパネル式の街灯は、役場前の道路と稲荷山への避難道路に設置しています。ブルーライトは、雨や霧の中では視界が低くなるとされていますので、それぞれの特性を活かし、価格面なども考慮しながら検討して参りたいと考えております。

特産品の開発と食のイベント開催について



質問するとき、少しかんでしまったけど、最後まで間違わずに言えたので良かったです。

中泊町には、大地や海からの恵みにより、たくさんのおいしい食材があふれています。

地元の食材を使った料理教室を開き、創作料理やお菓子作りなどを通して、特産品の開発をして売り出すというのを考えました。開発した特産品は地元の人に食べてもらったり、町のホームページや動画サイトに投稿したりして、多くの人に広めたりするのはどうでしょうか。

また、近くの市や町と協力してグルメを集めた食のイベントを行うことはできないのでしょうか。

〈答弁〉小野町長

最近の特産品の開発状況ですが、ブルーベリーを使用したジュレ、中泊産のもち米を使用した潮干餅が完成され販売されています。今後も、町農産物加工販売施設などを活用し、特産品の開発に取り組んでいきます。また、メディアなどを通じ、地域の魅力をより効果的に発信するよう、検討していきます。食のイベント開催ですが、「活ハママつり」などを開催し、地元の農林水産物をPRしています。今後、津軽半島地域の自治体と連携し、各地域のグルメを集めたイベントを検討していきます。

体育館の屋根の修理について



不安だったのでとても緊張しました。でも、自信をもって、みんなに聞こえるように、はきはきと大きい声で言えたと思います。とてもいい経験になったと思いました。

体育館のストープが、冬休みから三学期にかけて設置されました。本当にありがとうございます。

その武田小学校の体育館についてお願いがありました。体育館の屋根の事です。雨が降ると雨漏りがあるため、そうぎんやバケツ、コーンを置いていますが、それでも、すべて危険だったり、使える場所が狭くて不便だったり、大変困っています。

そこで、安全で思いっきり運動ができるように、体育館の屋根の修理をお願いしたいと思います。

〈答弁〉小野町長

体育館のストープ設置の件ですが、役場新庁舎移転にもない、旧庁舎の議場で使われていたものを有効利用して、設置したものです。「もったいない」と思う気持ちから、再利用品での設置となりました。今回ご質問の「体育館の屋根の修理について」ですが、ご心配とご不便をお掛けして、大変申し訳ありませんでした。冬期間に屋根に登って作業すること、大変危険であることから、天候が回復する春以降、早急に補修工事に取りかかる予定になっておりますので、今しばらくお待ちいただくようよろしくお願いいたします。

中泊メバル膳を県外にもっとアピールしてほしい



小泊のことをたくさん知ることができ、とても勉強になりました。貴重な体験ができ、いい思い出になりました。

中泊町に来てメバル膳を食べられない県外の人にも自宅でメバルを食べられるような商品がないか、もっとメバルをたくさんの人に食べてもらえるようになってほしいと学級で話題になりました。4万食、5万食をめざし、小泊のメバルを食べてもらいたいと思っています。

そこで、県外の人に向けてのようにメバル膳をアピールしているのか質問したいと思います。

〈答弁〉小野町長

メバル膳の利用者の、約90%が町外、そのうち県外からは約8%が町外まで来ていただいています。

「中泊メバル膳を県外にもっとアピールしてほしい」の提案は、外貨を獲得することで町の経済を活性化させる、素晴らしいアイデアだと思います。

県外の人に向けてのアピールは、中泊メバル膳のホームページやフェイスブック、リーフレット、また、じやらのパンフレットや新聞社のタブロイド紙などでPRを行っています。

今後も中泊町を元気にするために、「食」による観光まちづくりの推進に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

地球環境にやさしい町づくりについて



とても緊張してうまく質問できなかったけど、いい経験になりました。

町の美しい自然がこれからも守られるように「地球環境にやさしい町をつくる」という提案をします。一つ目は、自然エネルギーです。太陽の光と熱、風力などのエネルギーを町の施設や各家庭で利用することで、節約になるのではないのでしょうか。

次に二つ目は、廃油を利用した取り組みです。廃油を使ったエコカーや、バスを走らせることで、町をきれいにしようという意識が高まり、住みよい快適な町になるのではないのでしょうか。

〈答弁〉小野町長・飯塚総務課長

町では、環境にやさしく資源を循環する町を目指し、再生可能エネルギーの活用を進めていくこととしていきます。新庁舎も、車庫棟の屋上に太陽光パネルを設置、冷暖房は木質ペレットボイラーを設置し自然環境に配慮しています。バイオディーゼル燃料は、一定量を常時確保できるかの問題などもあり、未だ取り組んでいません。町で行われている廃油の利用例としては、冬期間のハウス栽培の暖房用、EM石鹸の原料などです。環境にやさしく資源を循環するまちづくりを目指しておりますので、取り組めるよう積極的に検討したいと思います。